

# 日本最大級の若手料理人コンペティション「RED U-35 2024」 応募総数478人、応募者平均年齢は大会史上最も若い29歳に

## 応募料理人の「目標とする人物」1位は米田肇氏

■「RED U-35」公式WEBサイト <https://www.redu35.jp/>

RED U-35 (RYORININ's EMERGING DREAM U-35)（以下、RED U-35）実行委員会は、35歳以下の料理人の発掘・応援を目的とした、日本最大級の若手料理人コンペティション「RED U-35 2024」（主催：RED U-35実行委員会、株式会社ぐるなび）について、**応募総数は478人で、応募者の平均年齢が29.0歳（※）と大会史上最も若い平均年齢になりました。**

また「RED U-35」では毎年応募者に「**あなたが目標とする人**」を聞いていますが、もっとも多く支持されたのは、5大会連続トップとなる「HAJIME」オーナーシェフの米田肇氏となりました。

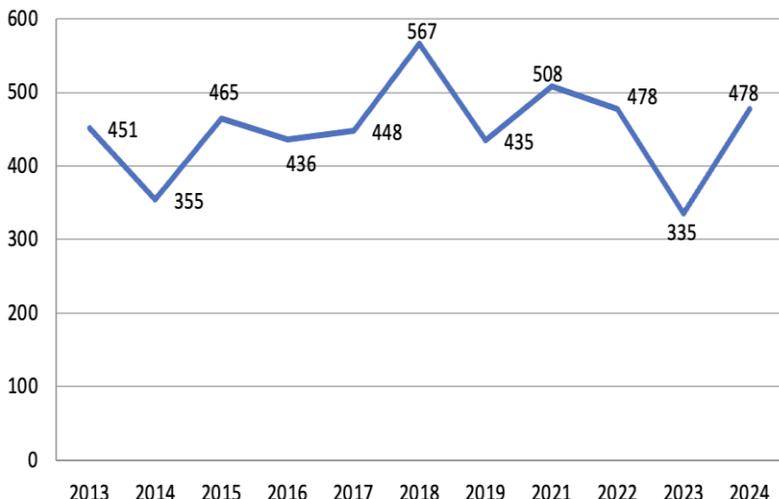
現在、応募テーマである「**自分らしさ**」について、メニュー考案や作文を基に、厳正なる審査が行われており、料理人としての技術力はもちろん、アイデアや視点、また、人間力や社会性などについて評価され、二次審査に進む50人（※予定）を選出します。なお、一次審査通過者であるブロンズエッグについては、「RED U-35」公式WEBサイトに**8月1日（木）に発表されます。**

※応募締切時点での年齢となります。

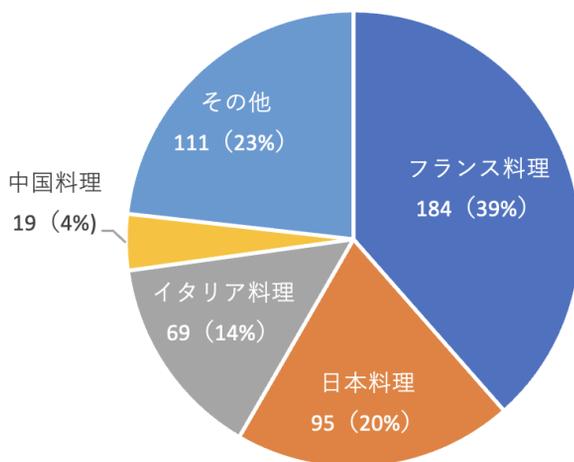
## RED U-35 2024 応募者サマリー

- 応募者は**478人**、内訳は男性：438人（昨年比+138）／女性：40人（昨年比+5）
- 応募者の年齢内訳は、10代：2人／20代：241人／30代：235人
- 専門ジャンルは**フランス料理が39%で最多**、次いで日本料理20%、イタリア料理14%。

### 応募総数



### 専門料理ジャンル



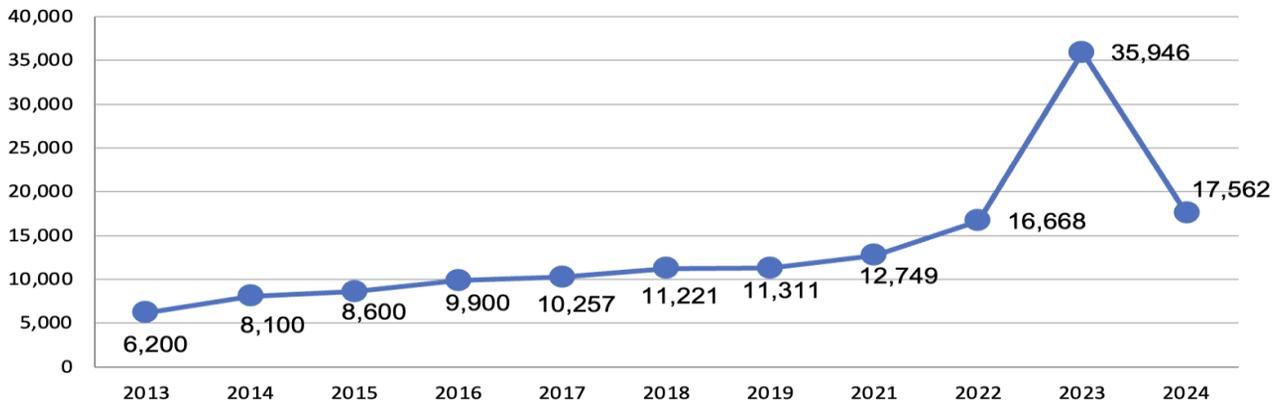
<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL:pr@gnavi.co.jp

- ・ 応募者所属店舗客単価は昨年には届かぬものの、2022年に比べ894円高い、17,562円。
- ・ 国内応募エリアでは、東京が136人、大阪50人、京都39人が続く。中でも北海道は昨年よりも8人増え22人となり4番目に多い
- ・ 応募者内訳：国内：461人／海外：17人
- ・ 応募エリア：43都道府県 ※鳥取県、山口県、徳島県、宮崎県は応募者無し

## 所属店舗 平均客単価

※単位：円



## 国内応募エリア

※応募者10人以上のエリアを抜粋

エリア	東京都	大阪府	京都府	北海道	神奈川県	福岡県	愛知県	兵庫県	新潟県	石川県
人数	136	50	39	22	20	19	18	13	12	11

## 「RED U-35 2024」次世代の料理人たちが目標とする人物2024

「RED U-35 2024」では、応募者に「目標とする人物」についてアンケートを行っています。今回エントリーした若手料理人たちが目標とし、注目している人物「TOP10」について発表します。

なお、公式WEBサイトでは、35位までの発表をしています。

## ■「次世代の料理人たちが目標とする人物2024」TOP10

【1位】米田肇 (HAJIME)

【2位】小林寛司 (villa aid)

【3位】大谷翔平 (メジャーリーガー) 岸田周三 (Quintessence)

【5位】谷昇 (Le Mange-Tout)

【6位】川手寛康 (Florilège) 佐々木浩 (祇園さゝ木) 吉武広樹 (Restaurant Sola)

【9位】生江史伸 (L'Effervescence)

【10位】谷口英司 (Cuisine régionale L'évo) 村田吉弘 (菊乃井)

■詳細は以下のWEBサイトでご確認ください。

URL : <https://www.redu35.jp/news/newsrelease/10815/>